

小学5年 社会 — 解答と解説

1

問 1	問 2	問 3	問 4			
イ	ア	イ	ア	メ	リ	カ
21	22	23				24

問 5			
(1)	ア	(2)	イ
25		26	

問 6	
1つめ	農家で働く人の数が減少していること。
2つめ	高齢化が進行していること。
27 28 29	

問7	問8	問9	問10	問11			
工	工	ウ	ア	(1)	ウ	(2)	ア
30	31	32	33	34		35	

問12	問13	問14	問15	問16	問17
ア	エ	ウ	エ	イ	ウ
36	37	38	39	40	41

問18
イ
42

(配点)

1 問 6 5点

1 問14 3点

上記以外各2点 計100点

2

問1	問2	問3		問4	問5
ウ	エ	(産業の)	空洞化 (くうどうか)	オ	ウ
43	44	45	46	47	
問6				問7	問8
(1)	エ	(2)	関 (税)	(3)	ア
48	49	50	51	52	53
問9		問10			
ア		ウ			
54	55				

3

問 1	問 2	問 3			問 4	
エ	イ	(1)	ア	(2)	緑 (のダム)	ア
56	57	58	59	60		
問 5	問 6	問 7			問 8	問 9
ウ	ウ	中国 (ちゅうごく)			エ	ウ
61	62	63	64	65		
問10	問11	問12				
イ	エ	⑫	潮 目 (しおめ)		⑬	大陸棚 (たいりくだな)
66	67	68	69	70		
問13						
イ						
70						

【解 説】

① 農業に関する問題

問 1 A2 分類

片栗粉はジャガイモなどから製造されるデンプンの粉で、調理などに利用されています。せんべいは米粉などからつくります。もち一般的には米（もち米）を蒸して杵でついてつくります。酢は米に麹などをまぜた上、発酵させるなどの手順を加えてつくります。一般的に食品工場は、その地域で生産されるものを原材料にすることが多くなっています。

問 2 A2 比較

転作は同じ土地でそれまでとは異なる作物を栽培することです。政府は1970年頃から始めた減反政策のなかで、農家に補助金を出して米以外の作物をつくる転作を奨励しました。輪作は同じ土地で異なった作物を1年から数年ごとに順番に栽培して地力の回復を図る栽培方法のこと、単作は同じ土地に1種類の作物だけをつくること、連作は同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培することです。

問 3 B1 順序立てて筋道をとらえる

田起こしは固くなった土を深く耕すなどの作業、代かきは水田を整地して水を入れる作業、田植えは田に苗を植える作業、中干しは7月頃水田の水を抜いて一度水田を乾かす作業です。

問 4 B1 視点を変える 置き換え

日本はアメリカ合衆国から多くの米を輸入していますが、アメリカ合衆国の2023年の輸出量は世界全体で第5位となっています。日本は同年約791万トンの生産量があり、輸入量は約81万トンとなっています。

問 5

(1) A1 比較

備蓄米は災害などに備えて政府が備蓄している米のことです。政府は毎年約20万トンを購入し原則5年間保管しています。2024年後半からの米価格の高騰については、政府の需要予測の誤り、米の流通過程に問題がある、などさまざまな指摘がなされています。早場米は台風や秋の長雨による風水害などに備えるため早く出荷される米のことです。

(2) A2 推論 比較

一般的に「提供される」は供給、「必要」は需要という語で示されます。物の値段は需要が増加する（欲しい人が増える）と上昇し、供給量が増加する（商品の提供量が増加する）と下落します。逆に需要が減少する（欲しい人が減る）と下落し、供給量が減少する（商品の提供量が減少する）と上昇します。これは需要供給曲線というグラフで示すことができます。

問6 B2 視点を定める 推論 理由

グラフからは2010年からの14年間で65歳以上の割合が10.6%増加していること、農家で働く人の数が94万人減少していることが読み取れます。政府は2024年に「食料・農業・農村基本法」を25年ぶりに改正し、食糧が安定的に供給されることを目指していますが、耕作放棄地が増加しているなど問題は山積しています。

問7 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

キャベツは、群馬県では高原の気候を活かした嬬恋村などで、愛知県では渥美半島、千葉県では銚子市周辺などで生産されています。アはたまねぎ、イははくさい、ウはトマトの生産量割合です。

問8 A2 比較

抑制栽培は夏でも涼しい気候を利用して、出荷時期を遅らせて高原野菜を栽培する方法です。アは工芸作物を生産する農業、イは近郊農業、ウは促成栽培の説明です。

問9 A1 比較

八ヶ岳のすそ野に広がる長野県の野辺山原は標高が1000mを超す地域で、夏でも涼しい気候を活かしたレタスやキャベツ、はくさいなどの野菜を、抑制栽培で生産しています。笠野原は鹿児島県、牧ノ原は静岡県、相模原は神奈川県にあります。

問10 A2 比較 理由

植物工場は液体肥料の使用や、水や温度を管理する設備などが必要なため、生産にかかる費用が高くなります。

問11

(1) B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

みかんは生産量の多い年と少ない年が交互に発生する傾向にあるため、グラフが直線的にならない特色があります。日本なしとぶどうはどちらも収穫量が減少を続けていますが、2000年と2024年で比較すると、日本なしが56.0%減、ぶどうが44.3%減と日本なしの減少率の方が高くなっています。果物の生産量は消費量の減少、輸入果実の増加、生産農家の高齢化などの理由により、1970年代の約600万トンから2023年の約245万トンへ大きく減少しています。

(2) B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

かきは和歌山県、奈良県、福岡県、岐阜県の順に生産量が多くなっています。かきの生産量は果物別にみると、みかん、りんごに次いで多くなっています。みかんは和歌山県、愛媛県、静岡県、熊本県の順、うめは和歌山県、群馬県、福井県、山梨県の順、ももは山梨県、福島県、長野県、

山形県の順です。

問12 A1 比較

バナナとパイナップルはフィリピンから、西洋なしはアルゼンチンから、キウイフルーツはニュージーランドからの輸入が多くなっています。

問13 A2 比較

有機農業は化学肥料や農薬などを使わずに、または少量のみ使用して農作物を生産する農業です。集約農業は多くの人手と肥料を使って行う農業。高冷地農業は夏でも涼しい高原などで春や秋の野菜を夏につくる農業、スマート農業はドローンや人工知能など最新の技術を使って行う農業です。

問14 B1 視点を変える 具体・抽象 比較

ア：飼養頭数は1990年～2000年、2020年～2023年で増加しています。

イ：飼養頭数の単位は千頭ですので、2024年の131万3千頭と1990年の105万8千頭を比較すると25万5千頭増加しています。

ウ：一戸あたりの飼養頭数は飼養頭数÷飼養戸数で計算できます。1990年は約16.7頭、2024年は約110.3頭となりますので、約6.6倍となります。

エ：飼養戸数が最も減少したのは1990年と2000年の間で29700戸減少しています。

以上のことから正解はウとなります。

問15 A2 関係づけ 比較

米沢牛は山形県米沢市周辺が産地です。岩手県のブランド牛には前沢牛などがあります。ブランド牛とは飼育方法、血統など厳しい基準を満たした高品質な国産和牛の総称です。

問16 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

豚は鹿児島県、北海道、宮崎県、群馬県の順です。アの乳用牛は北海道、栃木県、熊本県、岩手県の順、ウの採卵鶏は千葉県、茨城県、鹿児島県、岡山県の順、エのブロイラーは鹿児島県、宮崎県、岩手県、青森県の順です。

問17 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

アは米、イは野菜、ウは肉類、エは小麦の自給率です。現在日本の農業生産の減少と農産物輸入の増加は、食料自給率の低下をもたらしていて、2023年ではカロリーベースの食料自給率は全体で約38%となっています。農林水産省が設定した2030年度までの目標値である45%とは大きな隔たりがあります。

問18 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

飲用牛乳生産量を都道府県別に見ると北海道、神奈川県、茨城県、栃木県、千葉県の順になっています。関東地方の生産量が多いのは大消費地の東京に近く、新鮮な牛乳を迅速に提供できるためです。九州地方は生産量全体の約11.3%、東北地方は6.2%を占めています。

② 工業に関する問題

問1 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

アは1960年、イは1980年の割合です。2022年の日本の工業全体の出荷額は約361兆7749億円で、そのうち重化学工業が約267兆7134億円を占めていますので、約74%となります。重化学工業の製造品出荷額の内訳は、金属工業が約54兆円、機械工業が約160兆円、化学工業が約53兆円となっています。

問2 A2 比較 理由

日本の企業は貿易摩擦を解消することを目的に、アメリカなどでの現地生産を進めてきました。近年は生産にかかる費用を抑えるために、人件費が安いアジア各国での現地生産も進めています。エの事実はありません。

問3 A1 知識

工場が海外に移転することにより工場で働いていた人が失業する、日本の技術が海外に流出する、などの産業の空洞化と呼ばれる現象が見られます。また工場が海外に移転した地域では商店が閉鎖され地域経済が衰退する、などの現象もみられます。

問4 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

日本では中小工場が多く、大工場の生産を支える力となっていますが、景気の変動を受けやすく、賃金水準も相対的に低くなっています。中小工場の1工場あたりの出荷額は少ないのですが、技術力で世界から注目されている工場も見られます。

問5 B1 視点を定める 比較 理由

鉄鋼業の原料である鉄鉱石や石炭はほぼ輸入に頼っている状態です。そのため大規模な製鉄所は、原料の輸入に便利な太平洋側の臨海部に多く集まっています。また太平洋側には人口が集中しているため労働力が得やすかったという理由もあります。

問6

(1) B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

自動車工場は輸出に便利な臨海部だけでなく、交通に便利な内陸部にも分布しています。アは臨海部だけでなく内陸の高速道路や空港の近くにも立地する半導体工場、イは原料の石灰石の産

地に立地するセメント工場、ウは主として水の確保や木材資源の輸入に便利な臨海部に立地している製紙工場です。

(2) **A1** 知識

関税とは外国製品を輸入した企業や個人が納める税金のことで、高い関税を課すと輸入品が値上がりするため輸入量が抑えられることになります。アメリカ合衆国のトランプ大統領は工場が海外に移転し産業の空洞化が目立つ地域を復活させるため、2025年に多くの国の製品に高い関税を課しました。

(3) **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

日本の自動車生産台数は、1980年代においては世界第1位でしたが、その後アメリカ合衆国が第1位となりました。2024年現在では中国(ウ)が第1位で、以下アメリカ合衆国(イ)、日本(ア)、インド(エ)の順になっています。中国は世界の自動車生産台数の約34%を占めています。近年はインドの他にメキシコやブラジルが急速に生産量を増やしています。2022年の日本の製造品出荷額は約361兆7749億円で、そのうち自動車とその付属品の製造品出荷額は約70兆5284億円ですので、約20%となり日本の工業の中心となっています。

(4) **A2** 置き換え 比較

電気自動車(Electric Vehicles)はバッテリーに蓄えた電力でモーターを動かし走行する自動車で、二酸化炭素を排出しないことから普及が進んでいます。AIは人工知能、IRはカジノを含む総合型リゾート、FMはラジオの放送方式のことです。

問7 **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

化学工業は原料の石油や石炭、さまざまな鉱物などを輸入しやすい海岸沿いの都道府県で生産が多くなっていて、静岡県では富士市周辺、兵庫県では加古川市周辺で盛んになっています。大規模な石油化学コンビナートは千葉県では市原市、山口県では周南市などにあります。アは印刷業、イはせんい工業、ウは情報通信機械器具の都道府県別出荷額割合です。

問8 **B1** 視点を変える 置き換え 比較

原子力発電については、2010年の段階では総発電量の約25%を占めていました。ところが2011年3月の東北地方太平洋沖地震とその後に発生した津波により、イの福島第一原子力発電所で大事故が発生しました。これは核燃料を冷却するために必要な電源を全て失ったことによるものでしたが、その結果原子力発電所の安全性に疑問が出され、2012年5月には国内の全原子力発電所の稼働が停止となりました。現在一部の原子力発電所の稼働は再開されましたが、原子力発電は大幅に割合が低下しています。アは泊原子力発電所、ウは志賀原子力発電所、エは敦賀原子力発電所です。原子力発電はウランが核分裂するときに出る熱を利用して発電しますが、その際に二

酸化炭素を出すことはありません。核分裂が続いている時、核燃料は非常に高温になるため常に水で冷やし続けなければ危険な状態になります。そのため日本の原子力発電所は冷却用の水を得るために、すべて海に面して建設されていて内陸に建設されているものは1基もありません。

問9 A2 比較 理由

再生可能エネルギーには風車で発電する風力発電、太陽の光を利用する太陽光発電、地下から噴き出る蒸気を使う地熱発電、水の持つ位置エネルギーを利用する水力発電などがあります。いずれも燃料を輸入する必要がなく、二酸化炭素が発生しない、資源が枯渇することがない、などの長所があります。一方小規模なため発電コストが高く天候に左右されたり、地熱を得やすい場所は国立公園になっていたりと、建設場所に対する制約も大きいなどの短所があります。

問10 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

石油の輸入先はグラフ中の西アジアの4か国からで約94%を占めています。西アジアから石油を輸送するタンカーは、イランとアラビア半島の間にあるホルムズ海峡を通過しなければなりません。戦争により海峡を通航できなくなると原油価格が高騰するなど日本に多大な影響が出ます。アは金属製品の輸入先を金額割合で、イは石炭の輸入先を量別割合で、エは液化天然ガスの輸入先を金額割合で示したものです。

③ 林業・水産業に関する問題

問1 A2 分類

針葉樹は細長い葉を持つ木で、まつやすぎ、ひのきなどがあります。針葉樹は広葉樹に比べ柔らかく加工しやすいため、2023年の樹種別素材の生産量では針葉樹が約91.7%を占めています。広葉樹にはほかに、ぶな、さくら、くりなどがあります。

問2 A2 分類

天然の三大美林には秋田すぎの他に木曽ひのき、津軽ひばがあります。吉野すぎ、天竜すぎ、尾鷲ひのきは人工の三大美林となっています。

問3

(1) A2 比較

保安林は土砂の崩壊防止、水源の保護、防風や防雪など災害防止や環境保全の役割を持つ森林で、日本の森林全体の約50%を占めています。保安林には重要な役割があるため法律で伐採等が厳しく禁止されています。原生林は自然のままの森林、温帯林は温帯の中で雨量の多い地域にみられる森林、雑木林は主に里山に広がっていて、広葉樹からなっています。炭や薪、たい肥の原料などを得るために、人の手によって管理されてきた森林です。

(2) A1 知識

森林にはダムと同じように降った雨をたくわえ洪水を防ぐ役割があることから、緑のダムと呼ばれることもあります。森林には他に、気温があがるのを防ぐ、養分を貯え川や海に栄養を与える役割もあります。また二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する働きもあるため伐採が進むと、地球の二酸化炭素濃度が上昇し地球温暖化を促進すると考えられています。

問4 A2 比較

間伐は成長の悪い木を間引いて日あたりをよくし森林の健康を保つ作業で、10年おきに2回ほど行います。下草刈りは木の生長を妨げる草を刈る作業、枝打ちは下枝を切り落として樹木の形を整える作業、伐採は育った木を切る作業です。林業は木を植える植林から伐採まで50～60年前後かかる、大変な仕事です。

問5 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

木材の輸入先は、かつては東南アジアの国々からが多かったのですが熱帯林の破壊が問題となったため、現在は北半球の国々からの針葉樹が中心となっています。アはコーヒー、イは果実、エは医薬品の輸入先です。

問6 B1 視点を変える 置き換え 比較

図はえなわ漁法で、主にまぐろなどを漁獲します。遠洋まぐろ漁の場合、幹縄の長さが数十kmから百kmに達するものもあります。まきあみ漁法ではいわしやさばなどを、底引きあみ漁法ではすけとうだらなどを、棒受けあみ漁法ではさんまなどを漁獲します。

問7 B1 視点を変える 置き換え

中国の漁獲量は1990年代から世界第1位となっています。中国では経済成長などに伴い魚介類の消費が拡大しています。

問8 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

2023年の日本の水産物輸入は、金額順ではさけ・ます、まぐろ類、えび、いかの順になっています。さけ・ますは全体の約60%がチリからの輸入です。もともとさけ・ますは南半球には生息していませんでしたが、日本の国際協力などもあり、南半球にあるチリは現在では世界でトップクラスの生産量となっています。ベトナムやインドネシアなど東南アジアの国々では、日本向けのえびを養殖するため、海岸沿いのマングローブ林を伐採し養殖池を造成しました。その結果小魚の生息地が失われる、海岸線の侵食が進むなどの影響が出ています。

問9 A2 比較

沖合漁業は一般に海岸から30～50kmの200カイリ内の漁業専管水域で数日間行いう漁業で、い

わしやあじなどの比較的安価な魚種を大量に供給しています。沖合漁業の漁獲高は、1980年代後半よりまいわしの漁獲量が減少したことにより大きく減少しました。いわし類の漁獲の中心となっていたまいわしは、1988年の約450万トンから2006年の約5万トンへと漁獲量が急減しています。アは沿岸漁業、イは遠洋漁業、エは養殖業です。

問10 A2 比較 理由

遠洋漁業は1970年代前半、沿岸国が領海を除く海岸線から200カイリまでの部分の資源についての主権を設定し始め、この水域で漁業を行うには沿岸国の許可が必要となったこと、石油危機により漁船の燃料代が大きく高騰したこと、などから漁獲量が減少しました。

問11 A2 関係づけ 比較

ほたて貝の養殖は北海道のサロマ湖・内浦湾や、青森県の陸奥湾で盛んに行われています。かきは広島湾や宮城県の下川湾、石巻湾などで、まだいは愛媛県の宇和海沿岸や熊本県の天草周辺などで、うなぎは鹿児島県では志布志湾など大隅半島の沿岸で、静岡県では吉田町などで養殖されています。

問12 A1 知識

⑫暖流と寒流がぶつかる場所を潮目（潮境）といいます。潮目では海流の上昇運動が起こり、海底に沈殿した栄養分が上昇してくるため、プランクトンが集まって好漁場となっています。潮目ではさばやかかつお、銀ざけやさけ・ますといった暖かい海と寒い海に生息する魚の両方が漁獲されています。

⑬大陸棚は大陸や大きな島の周辺に広がる、水深が200mくらいまでの緩やかに傾斜している海底の地形で、栄養が豊富な好漁場となっています。大陸棚が広がっている東シナ海では、天然ガスや石油などの海底資源の開発をめぐる、注目を集めています。

問13 B1 特徴的な部分に注目する 関係づけ 比較

静岡県の焼津港は大型の船でかつおやまぐろなどを漁獲する遠洋漁業の基地となっていて、2023年の水揚げ量は釧路港、銚子港に次いで第3位となっています。2023年の都道府県別魚介類の生産で、静岡県はかつお類、まぐろ類とも第1位となっていますが、静岡県内で焼津港の占める割合は大変高くなっています。アは青森県の八戸港、ウは千葉県の銚子港、エは北海道の釧路港です。

(記述問題の採点について)

・明らかな誤字・脱字がある場合……1点

